

グループワークシート グループ2 メンバー 副委員長、花俣委員、榎本委員、野口委員、黒竹委員、目黒委員

現状と課題：多様な働き方を支える環境の整備など、働き方改革への対応 子育てや介護をしながら仕事を続けるために・・・	⇒ どのような環境ができれば良いか、どのような対応が必要か
<p>◎多様な働き方や働き方改革を進めようにも</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人手が足りない ・後継者がいない <p>■求人問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 求人が大変/アルバイトが集まらない/求人が集まらず開店できないお店もある ・ マーケットはあるのに後継者不足、外から連れてこれない <ul style="list-style-type: none"> ➢ 学生の気質が変わった/学生のハングリーさが無い/バイトは適時見つけるので切迫感がない ➢ 外国人のアルバイト雇用期間が制限されている ・ 流動性が高い（離職率が高い） <p>■介護や医療、健康関連、高齢者マーケット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療介護は数が伸びている ・ シニアが寄りやすい店が出にくい ・ 高齢者のお金の使いみちがない、ニーズとあっていない ・ ケアマネージャーの活躍 ・ ムーバスはお出かけ支援になっている ・ 武蔵野市はいち早く福祉公社を設立し、昭和 50 年代に福祉のまちづくりを宣言している市である ・ 在宅サービスも施設型も良質なサービスを提供している ・ 高齢者の 8 割は消費活動している <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職場の中での分担がむずかしい ・ オフィスワーカーと現場を持っている人で条件は異なる ・ 出産後に復職する女性が増えている ・ 流動性が高い ・ 家賃が高くて、資本力のあるチェーン店でないと店を出しにくくなった。これにより個性のある店が減った。多様性がなくなりまちの魅力が減少している。 	<p>■外国人の労働力確保に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入管制度の改革が必要 ・ 外国人の住む物件確保 <p>◎担い手の確保には、働く魅力のある職場・魅力のある地域づくりが必要</p> <p>◎多様な働き方や多様な住民に対応できる多様なお店、事業所をふやそう</p> <p>■離職を減らすために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 達成感を掲げる ・ 業界や地域の NO.1 を目指す ・ 地域と連携してやりがいをもてるようにしていく ・ 休日を定める <p>■地域で取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ノウハウを市内の企業で共有していく ・ 中小企業で取組みづらいものは連携して地域で仕組みをつくる <p>■福祉のまちのブランド化・高齢者にやさしいまちで稼ぐ！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 良質なサービスで経済の活性化が図れるのではないか ・ 高齢者のお金の使いみちをつくる ・ 吉祥寺はコンパクトで平坦で高齢者に向いているまち ・ 福祉のまちのブランド化を進める ・ 若者のまちと高齢者のまちをつなぐところが必要。それにより魅力が出て働きやすさ、暮らしやすさがでてくるのでは ・ 元気な高齢者に活躍してもらおう/シニアの労働力 ・ 働ける場所をちゃんと用意する ・ なじめる店があるとよい、高齢者が居やすい場所を ・ オジン・オバンのまち